

## 新たな学校給食センター整備に係る調査業務に関する盛岡市の取組状況

### 1 基本的な考え方

盛岡市では、学校給食センターの整備に向けて、これまで、「盛岡市立小中学校学校給食基本方針」（平成31年4月26日改定）及び「第二次学校給食施設整備実施計画」（令和元年8月29日策定）を策定し、取り組んできたところである。そのため、本業務における各種調査及び検討等についても、これらを踏まえて行うものとする。

### 2 学校給食の現状と今後の方向性

盛岡市立小中学校の学校給食の実施状況は、盛岡市学校給食センター（以下、「盛岡センター」という。）及び盛岡市玉山学校給食センター（以下、「玉山センター」という。）から提供する「センター方式」、学校に併設された調理場で調理して提供する「自校方式」、希望者に調理業者が調理したランチボックスを提供する「給食自由選択方式」の3方式で行っており、全ての市立小中学校において完全給食を実施している。（表1参照）

しかしながら、一部の中学校ではランチボックスを利用する生徒と弁当を持参する生徒がいるため、「全員に同じ給食が提供される方式」での完全給食実施に向けて、新たな学校給食センターを整備することとしている。

併せて、老朽化している自校方式の調理場や玉山センターについても、将来的に新たな学校給食センターからの給食提供に移行する必要がある。

●表1

区分	給食実施方式
市立小学校 (41校)	・センター方式14校（盛岡センター9校、玉山センター5校） ・自校方式27校
市立中学校 (22校)	・センター方式11校（盛岡センター8校、玉山センター3校） ・自校方式1校 ・給食自由選択方式（ランチボックス）10校

### 3 新たな学校給食センターの整備に係る市の取組状況

第二次学校給食施設整備実施計画では、（仮称）盛岡学校給食第二センター及び（仮称）盛岡学校給食第三センターを整備する予定としており、市有地での未利用土地のほか、国有地等についても幅広く検討を行っている。

令和6年度には、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする第三次学校給食施設整備実施計画の策定を予定しており、児童生徒数の将来推計を踏まえて、施設数についても検討することとしている。